

学 会 録 事

1. 2025 年度第 1 回評議員会

2025 年 2 月 27 日 (木) 15:00 から、オンライン (Microsoft Teams) で開催した。【議案 1】日本藻類学会特別賞、日本藻類学会学術賞、日本藻類学会研究奨励賞の受賞者について審議し、承認された。【議案 2】英文誌の刊行形態について、冊子体を廃止、完全オンラインジャーナルとすることを議論した。【議案 3】シニア会員の設立に関する議論を行った。【議案 4】会員減少に歯止めをかける取り組みに関する意見交換を行った。

2. 2025 年度英文誌編集委員会

2025 年 3 月 3 日 (月) 10:00 から、オンラインにて英文誌編集委員会を行った。英文誌編集長である長里千香子氏・平川泰久氏から「Phycological Research」の 2024 年および 2025 年の編集状況と投稿状況に関する報告があった。2024 年については、72 巻が総頁数 280 頁、掲載論文数 26 編であったこと、2025 年は、73 巻 1 号に 5 編が掲載され、2 号以降の受理論文数は 2 月 1 日現在 6 編であることが報告された。編集にかかった日数、投稿者の国名、2023 年までのインパクトファクターの推移等が報告された。副編集長の退任について報告があった。2025 年 2 月に新規投稿・査読システムである Research Exchange (REX) に移行したことについて説明があった。

3. 2025 年度和文誌編集委員会

2025 年 3 月 14 日 (金) 10:00 から、オンラインにて和文誌編集委員会を行った。和文誌については、岩滝光儀編集委員長より「藻類」の 2024 年および 2025 年の編集状況に関する報告があった。2024 年については、72 巻に 5 編の原著論文のほか、第 48 回大会プログラム、学会録事等が掲載され、総頁数は 194 頁であったと報告があった。2025 年については、73 巻の刊行計画と編集方針の説明があった。「日本藻類学会和文誌論文賞」については、和文誌編集委員会から設置案が提出され評議員会で審議された状況が説明され、和文誌編集委員会での検討に対する謝辞が述べられた。

4. 2025 年度第 2 回評議員会

第 2 回評議員会は 2025 年 3 月 21 日 (金) 15:00 より、みんなの貸会議室那覇泉崎店にて行われた。2025 年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議を行った。審議の中で、日本藻類学会英文誌論文賞、日本藻類学会和文誌論文賞の受賞者について了承を行った。他の内容に関しては、総会の項を参照されたい。

5. 2025 年度総会

2025 年 3 月 22 日 (土) 16:15 より、琉球大学千原キャンパス農学部西 (W) 棟 A 会場において行われた。会長から挨拶があり、その後、議事に入った。

<報告事項>

■庶務関係

- (1) 会員状況 (2025 年 2 月の雑誌発送会員) : 名誉会員 3 名, 普通会員 557 (国内・一般 395 名, 国内・学生 98 名, 外国 20 名), 団体会員 38, 賛助会員 3 (会費を 2 年滞納した会員への雑誌発送を停止している。会則が改正され (2021 年 1 月 1 日施行), 会費を 3 年以上滞納したとき会員資格を失うこととなっている。)
- (2) 2024 年度事業報告 : 1) 日本藻類学会第 48 回大会—神戸・2024—の開催 (2024 年 3 月 22 日~24 日) : 1 日目は公開シンポジウム, 編集委員会, 評議員会が行われた。2 日目は口頭発表 (2 会場), ポスター発表 (高校生ポスター発表を含む), 総会, 授賞式 (学術賞, 研究奨励賞, 論文賞), 懇親会 (学生発表賞表彰式) が行われた。3 日目は口頭発表 (2 会場), ポスター発表が行われた。2) 日本藻類学会第 48 回大会ワークショップ 1 「海藻類の採集・観察会」, ワークショップ 2 「微細藻類の採集・観察会」の開催 (2024 年 3 月 25 日 10:00 ~ 17:00, 神戸大学内海域環境教育研究センターマリンサイト)。3) 日本藻類学会第 48 回大会公開シンポジウム「海藻藻場・海藻養殖生態系における炭素フラックスと炭素固定を考える」の開催, オーガナイザー: 田中厚子 (琉球大学)・佐藤陽一 (理研食品), 講演者: 伊藤通浩 (琉球大学・熱帯生物圏研究センター), 小西照子 (琉球大学・農学部), 佐藤陽一 (理研食品株式会社・原料事業部), Gregory N. Nishihara (長崎大学海洋未来イノベーション機構・環東シナ海環境資源研究センター), 桑江朝比呂 (ジャパンプルーエコノミー技術研究組合, 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所) (2024 年 3 月 22 日 13:00 ~ 16:30, 神戸大学六甲台第二キャンパス百年記念館六甲ホール)。4) 学生発表賞の実施: 口頭発表 (微細藻類の部, 大型藻類の部), ポスター発表 (微細藻類の部, 大型藻類の部)。2019 年第 3 回持ち回り評議員会で決定された学生発表賞選考実施要領に従い実施した。5) 和文誌「藻類」72 巻 1 ~ 3 号の発行 (3, 7, 11 月発行)。6) 英文誌「Phycological Research」72 巻 1 ~ 4 号の発行 (1, 4, 7, 10 月発行)。7) 評議員会: 持ち回り評議員会の実施 (8 回), 2024 年度評議員会 (2024 年 3 月 22 日 (金) 16:30 ~ 18:00, 神戸大学理学部 Z 棟 Z201/202, 2024 年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議)。8) 2024 年度総会の開催 (2024 年 3 月 23 日 (土) 16:30 ~ 18:00)。9) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与 (2024 年 3 月授与) は無し, 募集と選考 (2025 年 3 月授与)。10) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与 (2024 年 3 月授与), 募集と選考 (2025 年 3 月授与)。11) 第 20 回日本藻類学会研究奨励賞の選考, 授与と第 21 回日本藻類学会研究奨励賞の募集, 選考。12) 第 27 回日本藻類学会論文賞の授与と第 28 回日本藻類学会英文誌論文賞の

選考。13) 日本藻類学会和文誌論文賞の設置, 第1回選考。14) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動。15) 日本藻類学会70周年記念事業。16) AlgaeBaseのスポンサーとしてのサポート。17) 自然史学会連合の事業に参加。18) 日本分類学会連合の事業に参加。19) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。20) 和文誌「藻類」の学会HP上での即時公開。21) 学会HP及び同報メールによる情報配信。22) The 9th Asian Pacific Phycological Forum (APPF 2024) (April 14-18, Sapporo, Japan) の後援, 23) 第40回国際生物学賞記念シンポジウム(2024年12月21日, 京都大学芝蘭会館)の後援。

■会計関係

- (1) 2024年度会費納入率(2024年12月末日現在), 雑誌発送会員を対象: 普通会員(国内・一般) 84%, 普通会員(国内・学生) 95%, 外国会員 54%, 団体会員 32%, 賛助会員 67%。
- (2) 一般会計決算等, その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

■編集関係

- (1) 2024年に発行した英文誌「Phycological Research」72巻1~4号は, 総頁数280頁, 掲載論文数26編であった。編集にかかった日数, 投稿者の国名, 受理となった論文の割合, インパクトファクター(IF)の推移等が報告された。論文投稿数が少ないことから, 論文投稿依頼の呼びかけがあった。
- (2) 2024年に発行した和文誌「藻類」72巻1~3号は, 総頁数194頁, 報文13報(原著論文5報, 藻類学最前線6報, 短報1報, 藻類分布資料1報), 記事14(参加記・開催記, 藻の見遊山, 雑録, 訂正), 第48回大会プログラム(神戸2024), PR要旨, 学会関連記事(学会賞, 学会録事等)。前述の編集委員会の項も参照されたい。

<審議事項>

■会計関係

- (1) 2024年度一般会計決算について報告および審議が行われ, 表1のとおり承認された。
- (2) 2024年度山田幸男博士記念事業基金特別会計決算について報告および審議が行われ, 表2のとおり承認された。
- (3) 2024年度研究奨励賞事業基金特別会計決算について報告および審議が行われ, 表3のとおり承認された。
- (4) 2024年度一般会計決算, 特別会計決算について, 監査報告(会計監事: 沖野龍文氏, 堀之内祐介氏)があった。
- (5) 2025年度一般会計, 山田幸男博士記念事業基金特別会計および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は, 表4, 表5および表6のとおり承認された。

■庶務関係

- (1) 2025年度事業計画として以下の事項が承認された。1) 日本藻類学会第49回大会—沖縄・2025—の開催(2025年3月21日~23日)。2) 日本藻類学会第49回大会—沖縄・2025—での公開シンポジウム「サンゴ礁海域における藻場の現状と未来」の開催, オーガナイザー: 山下

洋(水産研究・教育機構), 公開企業セッション「微細藻類を活用した価値創造と産業利用の現状」の開催, オーガナイザー: 金本昭彦(オーピーバイオファクトリー株式会社)。3) 第49回大会に合わせて, エクスカーション「亜熱帯の藻場観察会」の開催。4) 日本藻類学会第49回大会学生発表賞の実施: 口頭発表(微細藻類の部, 大型藻類の部), ポスター発表(微細藻類の部, 大型藻類の部)。5) 評議員会(2025年3月21日, みんなの貸会議室那覇泉崎店), 総会(2025年3月22日, 琉球大学千原キャンパス農学部西(W)棟A会場)の開催。6) 和文誌「藻類」73巻1~3号の発行(3, 7, 11月発行)。7) 英文誌「Phycological Research」73巻1~4号の発行(1, 4, 7, 10月発行)。8) 日本藻類学会特別賞・岡村賞の授与(2025年3月), 募集と選考(2026年3月授与)。9) 日本藻類学会学術賞・山田賞の授与(2025年3月), 募集と選考(2026年3月授与)。10) 第21回日本藻類学会研究奨励賞の選考, 授与(2025年3月)と第22回日本藻類学会研究奨励賞の募集と選考(2026年3月授与)。11) 第28回日本藻類学会英文誌論文賞の授与(2025年3月)と第29回日本藻類学会英文誌論文賞の選考(2026年3月授与)。12) 第1回日本藻類学会和文誌論文賞の授与(2025年3月)と第2回日本藻類学会和文誌論文賞の選考(2026年3月授与)。13) 藻類和名の整理に向けた「藻類和名のワーキンググループ」の活動。14) 日本藻類学会70周年記念事業。15) 和文誌「藻類」の学会HP上での即時公開。16) AlgaeBaseのスポンサーとしてのサポート。17) 自然史学会連合の事業に参加。18) 日本分類学会連合の事業に参加。19) 水産・海洋科学研究連絡協議会の事業に参加。20) 学会HP及び同報メールによる情報配信。21) 2026年からの英文誌の冊子体廃止, 完全オンライン化への移行について検討すること。22) 学会事務の業務委託について検討すること。

- (2) 日本藻類学会第50回大会を筑波大学筑波キャンパスで2026年3月20日~22日に, 日本藻類学会第51回大会を鹿児島大学郡元キャンパスで行うことが承認された。

4. 学会ウェブサイトによる情報配信と記載内容の更新

- 2025年1月から5月に掲載・更新した内容は次の通りです。
- ・日本藻類学会第49回大会の開催について
 - ・学会役員, 編集委員の更新
 - ・2025年度藻類学会賞の受賞者について
 - ・藻類学会賞ページの新設
 - ・次期大会(第50回, 第51回)予定について
 - ・和文誌藻類73(1)の公開
 - ・広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター公募について
 - ・公益財団法人国際エメックスセンター令和7年度若手研究者活動支援制度助成金情報
 - ・令和7年度若手県三陸海域研究論文知事表彰事業の募集について
 - ・戦略的国際共同研究プログラム(SICORP) EIG CONCERT-Japan 第12回日欧共同研究の公募

表 1. 2024 年度一般会計決算 (2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)			支出 (円)		
会費		3,631,000	和文誌経費		2,367,951
普通 (国内・一般)	2,670,000		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	350,000		編集費		0
外国会員	91,000		和文誌編集補助費	0	
団体会員	460,000		英文誌編集補助費	0	
賛助会員	60,000		庶務費		294,637
和文誌関係収入		442,710	事務用品費	36,338	
定期購読	112,050		会議費	57,962	
バックナンバー	0		通信印刷費	195,422	
別刷・超過頁代	229,500		諸雑費	4,915	
広告代	60,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	41,160		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		2,235,261	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	0		分類学会連合分担金		10,000
著作権還付金	2,235,261		レンタルサーバー代		7,731
受取利息		730	AlgaeBase への寄付		0
その他		1,527,130	派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小計		7,836,831	小計		8,240,319
前年度繰越金		11,228,113	次年度繰越金		10,824,625
合計		19,064,944	合計		19,064,944

表 2. 2024 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算
(2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
前年度繰越金	1,851,674	記念品費	15,510
受取利息	130	各賞用雑費	1,590
		次年度繰越金	1,834,704
合計	1,851,804	合計	1,851,804

表 3. 2024 年度研究奨励賞事業特別基金会計決算
(2024.1.1-2024.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
前年度繰越金	1,239,442	奨励賞賞金	100,000
受取利息	81	振込手数料	770
		次年度繰越金	1,138,753
合計	1,239,523	合計	1,239,523

表 4. 2025 年度一般会計予算 (2025.1.1-2025.12.31)

収入 (円)			支出 (円)		
会費		4,450,500	和文誌経費		2,400,000
普通 (国内・一般)	3,002,000		英文誌経費		5,420,000
普通 (国内・学生)	465,500		編集費		200,000
普通 (外国)	133,000		和文誌編集補助費	100,000	
団体会員	760,000		英文誌編集補助費	100,000	
賛助会員	90,000		庶務費		330,000
和文誌関係収入		331,000	事務用品費	30,000	
定期購読	120,000		会議費	50,000	
バックナンバー	0		通信印刷費	240,000	
別刷・超過頁代	150,000		諸雑費	10,000	
広告代	60,000		幹事旅費補助		0
著作権許諾料金	1,000		大会補助費		120,000
英文誌関係収入		2,350,000	自然史学会連合分担金		20,000
超過頁代	0		分類学会連合分担金		10,000
著作権還付金	2,350,000		レンタルサーバー代		10,000
受取利息		60	AlgaeBase への寄付		100,000
			派遣旅費補助		0
			託児費補助		0
小計		7,131,560	小計		8,610,000
前年度繰越金		10,824,625	次年度繰越金		9,346,185
合計		17,956,185	合計		17,956,185

表 5. 2025 年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算
(2025.1.1-2025.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	20	記念品費	30,000
		各賞用雑費	20,000
前年度繰越金	1,834,704	次年度繰越金	1,784,724
合計	1,834,724	合計	1,834,724

表 6. 2025 年度研究奨励賞事業特別基金会計予算
(2025.1.1-2025.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	10	奨励賞賞金	200,000
		振込手数料	2,000
前年度繰越金	1,138,753	次年度繰越金	936,763
合計	1,138,763	合計	1,138,763